



CSV Import Add-in Manual

by SparxSystems Japan

Enterprise Architect 日本語版

CSV 入出力アドイン マニュアル

(2020/12/02 最終更新)



1. はじめに

このマニュアルは、CSV 入出力アドインの簡易マニュアルです。CSV 入出力アドインはスパークシステムズ ジャパンによって提供されるアドインです。サポートユーザーの方のみ無料でご利用いただけます。

2. CSV入出力アドインの実行方法

CSV 入出力アドインを実行するためには、ダイアグラム内かモデルブラウザで対象の要素を右クリックしてコンテキストメニューを開き、「アドイン・拡張」→「CSV ファイルからの入出力」を選択してください。

出力は、パッケージか要素を指定できます。パッケージを指定した場合には、そのパッケージに含まれる要素が対象になります。読み込みは、要素のみが対象になります。

3. CSVファイルの形式

CSV ファイルの形式は固定になっています。

属性: クラス名,名前,別名,型,可視性,初期値,ノート,ステレオタイプ

操作: クラス名,名前,戻り値の型,可視性,別名,ノート,ステレオタイプ,パラメータ 1,パラメータ型 1,パラメータ既定値 1,パラメータノート 1

(以降、「パラメータ名,パラメータ型,パラメータ既定値,パラメータノート」の組み合わせを複数回繰り返すことができます。)

ここで、可視性は以下の文字列のいずれかになります。

Public, Private, Package, Protected

CSV ファイルは、SHIFT_JIS の文字コードでの入出力となります。

4. CSVファイルの読み込みに関する注意

CSV ファイルを読み込む場合、以下の点に注意して下さい。

CSV ファイルの先頭は、見出しとして扱い、自動的に無視します(追加されません)。先頭行に、このアドインで出力した内容と同じ見出しとなる内容がない場合には、読み込むことはできません。

CSV ファイルの 1 列目はクラス名ですが、この情報は読み込み時には無視します。ある要素から出力した CSV ファイルを、別の要素を選択して読み込むことができます。

既に同名の名前を持つ属性や操作・パラメータがある場合には、名前以外の情報を更新します(同じ名前の属性や要素が複数作成されることはありません)。名前だけで判断しているので、オーバーロードしている操作を扱うことはできません。ただし、操作のパラメータ(引数)は、常に CSV ファイルの内容で上書きします。

現在のバージョンでは、CSV ファイルのフィールドの数が合わない場合などには読み込みは行われません。アドインを実行後に読み込まれていない場合には、CSV ファイルのフィールドの内容や数を確認してください。

5. CSVファイルの出力

このアドインでは、既存の CSV ファイルを読み込むだけでなく、出力することもできます。モデルの内容を Excel 等で加工して利用したい場合に便利です。

また、このアドインで出力した CSV ファイルは、このアドインで読み込めるようになっています。CSV ファイルを出力した後、必要に応じて追加したり編集したりして、再度読み込むことができます。

6. 属性や操作の一括出力

パッケージ内に含まれるクラスを対象に、属性や操作をまとめて出力することもできます。なお、一括出力で出力した CSV ファイルは、別の単一のクラスに読み込むことはできませんが、元のそれぞれのクラスに読み込んで更新することはできません。ご注意ください。

一括出力する場合には、対象のパッケージをモデルブラウザ内で選択し、右クリックメニューから出力を実行してください。